平成 28 年度　記録集

# 第 19 回　いきいき市民のつどい

# 希望のひとづくり、まちづくり 第２弾

## 担い手づくり待ったなし、寄って話してつながろう！

**日時**　平成 29 年 1 月 28 日(土)

午後 1 時 30 分～4 時 30 分

**会場**　市立産業会館　　別所町　3-13-26

主催：岸和田市・岸和田市教育委員会
企画・運営：岸和田市生涯学習推進本部

平成 28 年度　第 19 回　いきいき市民のつどい

# 希望のひとづくり、まちづくり　第 2 弾

## ～担い手づくり待ったなし、寄って話してつながろう～


開催要項　・・・

平成 28 年度

## 第 19 回　生涯学習＜いきいき市民のつどい＞開催要項

＜開催趣旨＞
生涯学習のまちづくりを、市民ぐるみで推進するために設置された生涯学習推進本部。参加者のみなさんと生涯学習について考え、連携と協働による社会的ネットワークの構築をめざす学習と交流の場として毎年「いきいき市民のつどい」を企画・運営しています。

岸和田市では、地域の中でさまざまな学びや活動をしている人たちがたくさんいます。それぞれの人やグループが、これから、もっと　〝いきいき〟するために「持続可能な社会づくりのための活動や学び」について、一緒に考えてみませんか。
ワークショップ第２弾ですが、今回はじめて参加する人も大歓迎です。
きっと、新たな出会いや気づきがあるはず！！
これから活動してみたい人、活動している人、みなさん、ぜひ ご参加ください！

# 希望のひとづくり、まちづくり　第 2 弾

## ～担い手づくり待ったなし、寄って話してつながろう～

１　日　時　　平成 29 年 1 月 28 日（土）午後 1 時 30 分～4 時 30 分

２　場　所　　市立産業会館（別所町 3-13-26）

３　内　容　　開　会　　午後 1 時 30 分～1 時 40 分

**講　師：神戸大学大学院　　教授　松岡　広路（こうじ）　氏**
前半　　午後 1 時 40 分～3 時
休憩　　午後 3 時～午後 3 時 10 分……10 分
後半　　午後 3 時 10 分～午後 4 時 30 分

４　目標参加者数　　全　体　　130 人
及び申込方法等
- 生涯学習推進本部関係団体からの参加　100 人
  - ※ 各団体は参加者名簿を **1 月 13 日（金）**までに事務局へ。
- 一般の参加者　30 人
  - ※ 電話・ＦＡＸ・電子メール又は窓口のいずれかの方法により、申し込む。（住所、氏名、電話番号が必要）文字通訳あり。なお、保育（１歳半～小学３年生　先着 15 名）や手話通訳等の希望者は要予約。〆切りは **1 月 13 日（金）**。

※チラシ、ポスターのほか「学びのプラン」「広報きしわだ」等で開催案内をする

５　申込及び　岸和田市教育委員会　生涯学習部　生涯学習課
問 合 先　岸和田市堺町 1－1（市立公民館内）
電話　423 - 9615～6　　ＦＡＸ　423 - 3011
電子メール　syogaig@city.kishiwada.osaka.jp

６　主　　催　岸和田市・岸和田市教育委員会
企画・運営　　岸和田市生涯学習推進本部

7　当日次第

【開会】

1　開会のことば　　岸和田市生涯学習推進本部　上月　正洋　委員長

2　主催者あいさつ　岸和田市　大原　好照　副市長

【グループワーク】

～担い手づくり待ったなし、寄って話してつながろう～

講師紹介

**神戸大学大学院　　松岡　広路　教授**

人間発達環境学研究科
ヒューマン・コミュニティ創成研究センター
ボランティア社会・学習支援部門

1960年 生まれ
生涯学習、社会教育、福祉活動の研究的実践を多方面で積極的に行っている
専門領域：生涯学習論、人権教育、 ESD(持続可能な開発のための教育)
所属学会：日本福祉教育ボランティア学習学会、日本社会教育学会
主な著書：『生涯学習論の探究』 学文社　 2006.12
『希望への社会教育～3・11 後社会のために～』東洋館出版社 2013.9

## 開会のことば

### 岸和田市生涯学習推進本部　上月　正洋　委員長

皆さま、こんにちは。本日は、お忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。岸和田市生涯学習推進本部委員長の上月です。

昨年度のいきいき市民のつどいは「希望のひとづくり、まちづくり～次世代におもいを伝えたい～」というテーマで 130 人のグループワークをしました。

今年度は昨年度より、もっと進化させた形で、少しグループを小さくし、グループ数を多くしました。生涯学習推進本部で今年はどうしたら良いかを一生懸命、委員の皆さまとともに考えました。今日は参加者の皆さまとたくさんお話をして、私たちも参加しながら一緒に学べればと思います。

１年を振り返ると様々なニュースがありました。最近では新潟県糸魚川市の大火災、昨年 4 月に起きた熊本地震、そして忘れられない神奈川県で起きた、津久井やまゆり園の事件。そんな中から、私たちもいろいろなことを考えなければいけないと痛感しています。

市民として一方的に行政に「何かをしてほしい」ということではなく、一緒に学びながら、共につくっていくことを問われていると思います。

そして行政にも縦割りでなく、横串をさしていただき、我々市民と共に、難しい時代をみんなの智恵を寄せ合っていければと思います。新たな出会いが、これまでにない取り組みやしくみを生み出すことにつながればと願います。

今年度は、昨年度と同様、神戸大学大学院の松岡広路先生に講師をお願いすることになりました。

松岡広路先生はご承知のように、東日本大震災の被災地、岩手県の大船渡市をはじめ、ハンセン病療養所での活動など、学生達と共に ESD 持続可能な開発のための教育を進めるネットワーク事業などあらゆる学びの実践として、様々な地で多岐に渡る活動をされています。

教育者であり、研究者でもあり、また実践者としても全国各地を飛び回って学んでおられます。その松岡広路先生には、昨年の出会いをきっかけに、今年度から岸和田市の生涯学習審議会の会長も、岸和田市が依頼し引き受けていただいているところです。そのことは、私たちの学びに深く関わっていただけるということです。そして今回もぜひ、私たちや岸和田の学びに手助けいただけないかとお願いしました。

皆さん、ぜひ一緒に学びましょう。そして、よろしくお願いいたします。

ありがとうございます。

## 主催者あいさつ

### 岸和田市　大原　好照　副市長

皆さま、こんにちは、副市長の大原です。よろしくお願いします。

大変、ご多用の中、19 回目の「いきいき市民のつどい」にご参加いただき、ありがとうございます。本日、信貴市長は、公務のためメッセージを預かっております。恐縮ではありますが、私が代読をさせていただきます、よろしくお願いします。

皆さま、本日は「いきいき市民のつどい」にご参加、ありがとうございます。

平素は、本市の生涯学習のまちづくりにご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

この「いきいき市民のつどい」は生涯学習推進本部の皆さまのご協力を得ながら、前身の「年輪のつどい」から今回で 19 回目を迎えました。

本市の生涯学習は、公民館などの社会教育施設だけでなく、学校を含む様々な施設、あらゆる機会をとらえて、行政と市民の皆さまが協力しながら進めております。

平成 28 年 2 月作成の岸和田市教育大綱の中で、市民が健康寿命を延ばし、生涯にわたり、心身の健康と生きがいや安らぎのある人生が送れるよう、生涯学習環境の充実を図ることを掲げております。

学習機会の拡充として、様々な立場の人たちとの連携とネットワークをつくり、学習機会や交流の場を充実させる取り組みとして「いきいき市民のつどい」を開催してまいりました。本日は、昨年度に引き続き持続可能な社会づくりの活動や学びについて、神戸大学大学院の松岡広路教授をお迎えし、一緒に考え、お話しいただき今後の活動に活かしていただけることを期待しております。

生涯学習推進本部の皆さまはじめ、開催のご準備していただいた関係者に感謝を申し上げますとともに、皆さま方の今後ますますの活躍ご多幸をお祈りいたします。

岸和田市長　信貴　芳則。　代読でした。

開会のことば　上月委員長

大原副市長あいさつ

＜当日プログラムと資料＞

第 19 回　いきいき市民のつどい

# 希望のひとづくり、まちづくり 第 2 弾

## ～担い手づくり待ったなし、寄って話してつながろう～

◇ 講　師： 神戸大学大学院　　松岡　広路（こうじ）　教授

◇◇◇　次　第　◇◇◇

【開　会】

1　開会のことば

2　主催者あいさつ

【グループワーク】※20 グループ

担い手づくり待ったなし、寄って話してつながろう

〇持続可能な社会づくりと担い手問題
〇新人リクルート力チェックシートワーク
〇グループ内自己紹介とシェア
〇チェックシートの紹介
〇リクルート力アップ作戦会議
・ワールドカフェ方式によるシャッフル１
・ワールドカフェ方式によるシャッフル２
〇最初のグループで総括
〇総合討論
つながりを生むリクルート　みんなでできることは？

# 希望のひとづくり・まちづくり

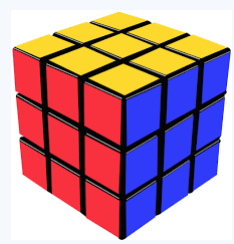
担い手づくり待ったなし、寄って話してつながろう

神戸大学　　松岡広路（まつおか・こうじ）

## あなたが願っているのは　どんな社会？

平和、安全、豊かな自然、健康、経済的ゆとり…　　多様な理想

家族問題、職場の人間関係、人権、育児・介護…　　たくさんの課題



## 持続可能な社会づくり　ESD

多様な

- 希望やおもいが持続する
- 文化や自然が持続する
- ゆとりやゆたかさが持続する
- 「いのち」が持続する
- 「地球」が持続する

社会づくり

そのための
人・コミュニティづくり

**ESD**
（持続可能な開発のための教育）

## ESDのための企画・プロジェクト・事業を　!!

- 大船渡被災地支援ESDプロジェクト
- ESDワークキャンププロジェクト
- ESDボランティアプログラム
- 学社連携スタディツアープロジェクト

などなど

## しかし

企画・事業を進めるうえでいちばん問題になるのが　**担い手**

## やっぱり、リクルートが大切

- 内を見つめる
- 人を育てる
- 外に目をやる
- 外から人を呼ぶ
- 人を育てる

…

→ 担い手づくり・探しを通した「実践コミュニティ」づくり

じっくりと
リクルート（担い手づくり・探し）の課題を共有し
克服するアイデアをみつけたい

リクルートのために
協力し合って何かできるのではないか？

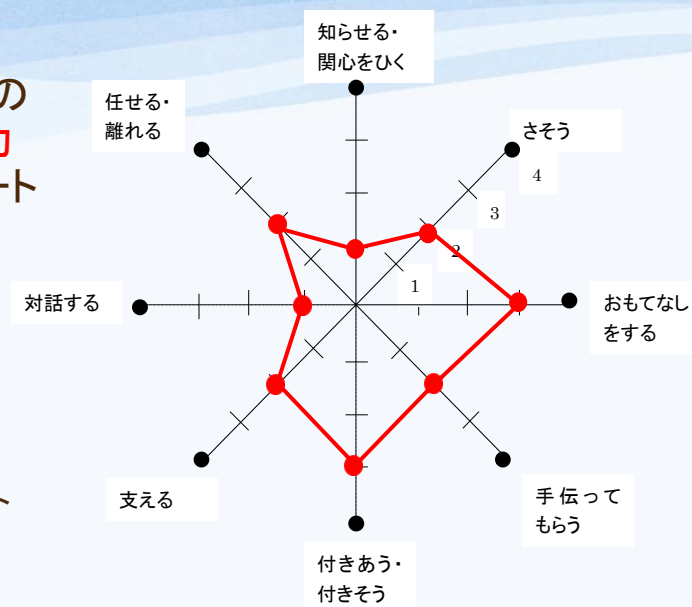
# わたしたちに　リクルート力　はあるか？

- 活動や団体の存在を知らせる･関心をひく
- さそう
- おもてなしをする
- 手伝ってもらう
- 付き合う
- 支える
- 任せる
- 対話する
- 離れる

リクルートされる側に
立つと

情報を得る
その気になる
居心地がよい
力をためすことができる
心強い
助けがある
自由がある
先輩や仲間がいる
自立できる

# 団体･組織の リクルート力 チェックシート




1
2
3
2
3
2
1
2
16

大船渡
被災地支援
ESDプロジェクト
の場合

レーダーチャート

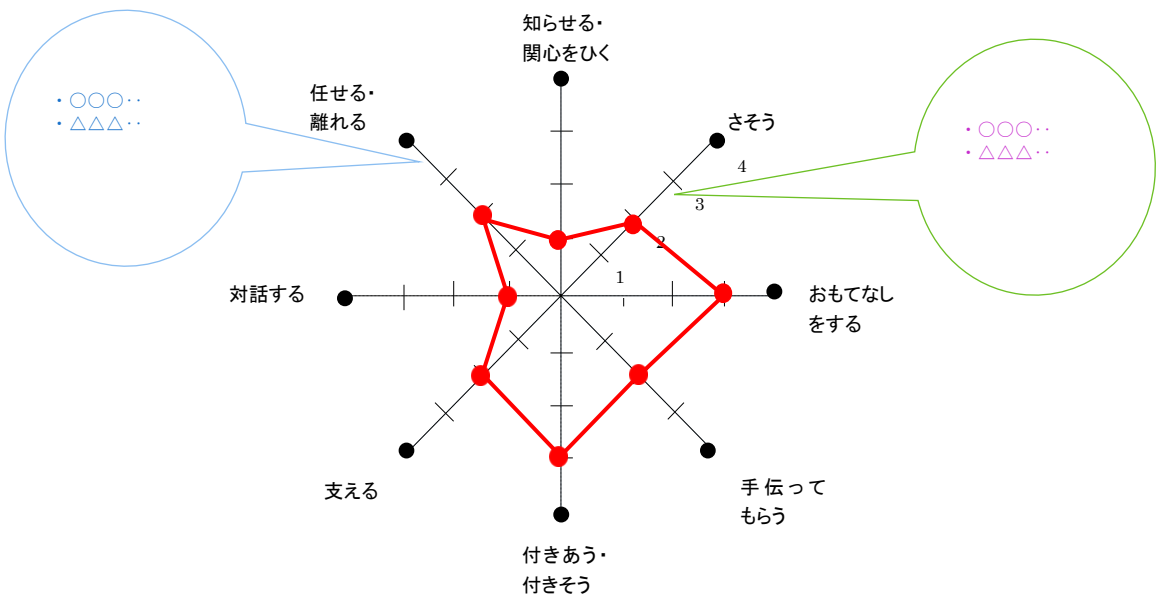
以下のいずれかを選択して、

- 自分の団体・組織

または

- かつて参加したことのある団体・組織

リクルート力のチェックをしてみましょう！



# 予定表

岸和田　いきいき市民の集い　　2017年1月28日

タイトル：希望のひとづくり・まちづくり　　担い手づくり待ったなし、寄って話してつながろう

| | |
|---|---|
| 13:00 | 受付 |
| 13:30 | 開会 |
| 13:40 | 持続可能な社会づくりと担い手問題 |
| | 導入１ |
| | 導入２ |
| 14:00 | 新人リクルート力チェックシートワーク |
| 14:10 | グループ内自己紹介とシェア |
| | 自己紹介 |
| 14:20 | チェックシートの紹介 |
| | 団体名・総得点の紹介 |
| | 図を共同化する |
| 14:50 | リクルート力アップ作戦会議 |
| 15:20 | ワールドカフェ方式によるシャッフル１ |
| 15:35 | ワールドカフェ方式によるシャッフル２ |
| 15:50 | 最初のグループでの総括 |
| 16:10 | 総合討議 |
| | つながりを生むリクルート　みんなでできることは？ |
| 16:30 | 終了 |

## 第 19 回　いきいき市民のつどい

**希望のひとづくり、まちづくり　第 2 弾**

**担い手づくり待ったなし、寄って話してつながろう！**

松岡／ 改めまして、こんにちは。ご飯をちゃんと食べておられますか？まだ昼ごはんを食べていない人は挙手を。早くから来られていましたね。チョコレートがありますので、食べてくださいね。
テーブルの上には、スタッフが用意くださったチョコレートがあります。
これは、お土産で持って帰るのではなく、つまみながらお話をしていただいたらいいです。
チョコレートが嫌いな人は食べなくて良いですが。昨年も、この時期に来させていていただきました。上月委員長から話がありましたが 130 人ぐらいの方が雪の中いらっしゃいました。
岸和田の人は雪が降っても来てくれるのだなと。すごい力だと驚いたことを覚えています。
しかも、私がたくさん話して皆さんが話す時間が短くなって叱られました。
「もっと私たちが話したい」という感じだったので、今年は、皆さんが楽しくお話できる時間を持ちながら、そして楽しさの中で意味のあるものをつかみ出す時間になればと思います。
「希望のひとづくり、まちづくり」です。
生涯学習、社会教育を考えるとき、意外かもしれませんが、人づくりやまちづくりは視野に入らないのです。人がつくられるとか、まちをつくるとき、生涯学習と関係がないと思っている人が多いのです。
私が神戸にいて、岸和田市の人がわざわざ神戸大学まで来て熱く語られました。
「生涯学習は人づくり、まちづくりとつながるのだ、社会を新しくつくるための最も必要な方法が生涯学習なのだ」と熱く語られました。
岸和田と言えば、有名なお祭り。

会場／ だんじり祭り。

松岡／やはり「だんじり」かと思っていましたが違っていました。学びを一緒に考えてつくりたいと、それが 1 年前、以来、岸和田の人に魅了されています。熱くて、人を巻き込むのがうまい、岸和田の気質はそうですか？
熱っぽい人と一緒になって、生涯学習をすすめていきたいと思っています。
今日も皆さんの意見や考えを聞きながら、私自身も一緒に考えたいと思っています。
人づくり、まちづくりについて、皆さんの理想を聞いてみます。
何のために人づくりをするのか。どんなまちにしたいのか。どういう学びに意義があるのか。
何をめざして、人づくり、まちづくりをするのか。
皆さんが願っているのは、どんな社会なのか。社会がこのままで良いなら、人づくり、まちづくりでも今のままでいいのではないか。

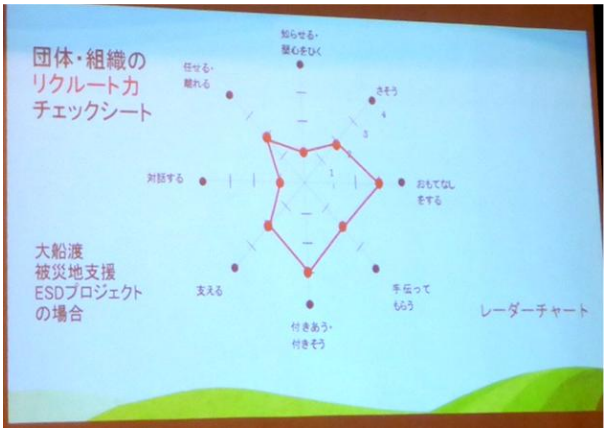
何かを変えたい、もっと理想とするもの、どんなものがあるのでしょうか？
皆さんが願うのは、どんな社会ですか？平和な社会？平和が大切？という人もいると思います。平和は広いですが「安心・安全」な町になってほしい。豊かな自然が保たれている、そんな社会であってほしい。みんなが健康な社会が良いとか、いろいろな理想があると思います。
ひと言でいうと、それは「多様な理想」と言えます。
これだけで、皆さんにどんな社会が良いか話し合ってもらうと、たくさん出ます。経済的なゆとり、きれいごともよいけど、働けて、ちゃんと食べていける社会でないと困ります。
課題を見ましょう。どんなものがあるのか。
私の抱えている課題は、家族問題です。お墓をどうやって次ぐのかという家の問題に直面しています。
家を捨てて、岸和田で暮らしている人はいますか？ご先祖様とのつながりの中で、財産、想い、お墓などを継承するかという課題があり、正直、私はいま大変です。私は広島出身で、妻は鹿児島出身です。今は神戸に住んでいますが、子どもはまた別に住んでいます。心ではつながっていると思っていますが、昨年、義理の父が亡くなり、お墓をどうするかということになりました。鹿児島の墓を守ろうかと思っていたら、広島の親族が広島の墓はどうするのだと言われました。年末、大変な状況で、鹿児島、広島、神戸をぐるぐる回っていました。
今、笑い話にしているのは解決したからではなく、まったく解決していなくて逃げています。
冗談半分でしたが、それぞれがいろいろな課題を持っていると思います。それをどう克服すれば良い暮らしができるのか。それをコツコツ追求しているのが我々の社会です。社会は劇的には変わりません。課題を追求していく。
ルービックキューブをやったことありますか？全面揃えたことがある人。全面揃えたことがあるのですか、すごいなぁ。
一面だけ揃えることはできます。一面くらいは教えてもらえばできます。沢山の理想、課題を私たちは何とかしようと努力することは、ルービックキューブの一面を揃えるようなものです。
経済的なゆとりを持ちたい、岸和田に雇用の場をつくりたい、工場を誘致し、新しい産業を持ってくるのは、ルービックの一面を揃えるようなものです。

しかし、全面揃えた人ならわかりますが、全面揃えると崩したくない。全面揃えるには、一旦揃えた一面を崩さなくてはいけない。我々の社会づくり、人づくりはそういうものかもしれない。自然保護だけを追求していては、いい社会をつくることはできない。そんな難しい局面をどう考えるのかが、持続可能な社会づくりです。先程の市長さんの挨拶にもありましたが、持続可能な社会づくりはいろいろな夢、課題を総合的に考えながら社会をつくるという取り組みです。
皆さんが日々されているかもしれません。
「これが大事」と強く言う人は、もちろん大事ではありますが、それだけで社会をつくることは

できないということがわかっていて、英語で言うと、Education for Sustainable Development 略して ESD です。「持続可能な」とは、一体何か。社会が持続可能になればいいというのではない。何が持続すればいいのか。多様な希望やおもいです。大きな思いだけがある社会ではなく、一人ひとりの希望や夢がきちんと残っていく社会です。これは大切なことだと思います。
文化や自然が持続していく。この 100 年ぐらいを考えると日本の社会は変わりました。文化、自然は持続していますか？これから先のことを考えると危ういこともあります。ゆとりや豊かさが持続する。この２つが良くても、今食べていけない、生活保護のもと、肩身が狭い思いをしているのではいけない。ある人だけが豊かで、ある人が貧しいということを認めるわけにはいかない。
経済格差、貧富の差、これを認めたうえで地球の自然環境が良くなればいいなというのは、持続可能な社会づくりではないのです。それらを含めて、大きく命が持続すると言います。地球上のあらゆる命、存在が、無下に壊されることなく、持続していく社会。弱肉強食の社会ではないのです。それでは、ものごとがうまく続かない。
ドラマで「下克上受験」とありますね。多くの人たち、生き物が持続していく社会づくりを目指していく。そのためには人やコミュニティが頑張らなければいけない。そんなコミュニティづくりをすることを ESD 運動といいます。
「いきいき市民のつどい」で、なぜ皆さんが集っているのか、なぜ集まって一緒に考えようとするのか。ここに繋がることになると思う。これは前置きですが、私はそう考えます。違う業種の人が集まって、話す意味は何か。同じ業界の人が集まり考えた方が、はるかに効率は上がる。そうでなく、ここにはいろんな立場の人が集まっている。それぞれが人づくり、コミュニティづくりが大事だと思っている。だからこそ持続可能な社会づくりが実現できる一歩になると思う。
熱く語りましたが、このことも「ほんまか？」と思いながら聞いていただいたらいいです。皆さん自身がどんな社会をつくりたいかをしっかり考えていただければいいし、希望の人づくり、まちづくり。なんでこんなことをするのかは、皆さん自身が、このつどいの後も継続して考えていただければいいです。
前置きに近いですが、こんなことを考えているとお話しました。

前のスライドを紹介しようと思いましたが。
東日本大震災の支援、被災地の町づくりは総合的に考えなければいけません。亡くなった人の命を意識し、津波や放射能の跡地に、どんな命がこれから宿っていくのか考えながら活動しています。そんな場面を助けるようなプロジェクトや、参加してみようというプロジェクトや、ワークキャンプもします。どんなものかというと、肉体労働をしながら、つまり頭を使わずに、みんな出会おうぜ、と青年向けのプログラムもやっています。あるいはボランテイアプログラムもやっています。
最近力を入れるのが、学社連携です。地域の人は刺激されて、自分たちの活動がもっと活発になるように願ってやっています。私は夢とロマンを感じてやっています。
昨年末までは疲れていましたが、今年に入って、パワーアップしてきました。がんばろうと、みんなでいろいろな新年会をしています。皆さん、新年会しましたか？
ただ、この「つどい」のテーマで「担い手づくり」は私にとっても非常に大きな課題です。
例えば私の体調が悪くなったら、プロジェクトが下火になる、何かで私がいなくなったら続かなくなるのではという不安があります。

神戸大学をベースにしているので、誰かがつなげてくれればいいと思っていますが、時代が悠長なものでないので「一生懸命やる」という人がいなくなったら終わりです。
この「いきいき市民のつどい」に来てほしいと言われた時に「悩んでいる人が沢山います」と言われました。「その人たちの知恵をもらえるのなら、行きましょうか」と、新しい方法を見つけてくださるという場面に出くわしたら嬉しいと思いました。
私が考える中で、大切な１つのキーワードは『リクルート』です。自分の組織の中を見つめます。その中にどんな人がいるのかを見ます。若手の人を育てたいと思います。一生懸命に育てようとするほど逃げられたり、思うようにはいきません。
次に、外に目を向けます。外から人を呼び「この人に継いでもらえないか」と思います。来てくれたらその人を育てようと内側も見るが、外側も見ます。両方から人材育成、人づくり、担い手づくりをしていく。私もそのことを考えている最中です。
こういうものを通して、自分の組織をしっかりとしたものにするしかないのです。これらを総称して「リクルート」という言葉を使っています。内側の人も育て、外からも人を呼び、その活性化で人づくりを軸にして、組織を元気にすることです。
皆さんはどうですか？ PTA の方や、文化関係、様々な関係の人たちが、ここにいると思いますが、自分の組織を活性化するときに「リクルート」をうまく役に立てていますか。今日はじっくりと、皆さんに担い手づくり、担い手探しを「リクルート」の課題を共有して、それをつないでいく相手を見つけてほしい。皆さん、よろしいですか？まず、皆さんひとりずつに問います。
組織、皆さん自身でもいいです「リクルート」する力、担い手を探して育てる力が、どの位、皆さんの中にあるのでしょうか？



「私の組織はうまくいっている」という人は手を挙げてください。
逆にリクルート力、担い手を組織として探し育てる力ですが、これが弱いと思っている人？
これはパラパラと手が挙がりました。強くも弱くもないということですね。
一般に「リクルート力」と言いましたが、どういうものがあるのでしょうか。
構造的に考える研究をしました。簡単な言葉で紹介します。
一般企業が新入社員をリクルートする時とは違って、市民活動、地域活動の中で成功している集団にどういう要素があるかです。
上から順に説明します。１つめは、当たり前ですが、誰か新しい人を誘うから、活動や団体の存在を知らせ、関心をひくことができているか。自分たちの団体の活動などの紹介ができているか。
２つめは、直接、誘う力があるか？「ぜひ、私と一緒にやりましょう」と直接言われると、人は「ノー」と言います。充て職でなんとなくやっていると、誘うということはしません。
自分の代わりにやって、とは言うかもしれませんが。誘ったら、３つめはおもてなしをする。来

てもらって、きちんと「おもてなし」をしているかどうか。「おもてなし」とは、居心地良くできているかどうか。これができてない組織は、新しく人が来ても、すぐやめてしまいます。
４つめは、新人さんに手伝ってもらえる活動があるか。来てもらった、心がホッとした、居心地がいいなと思った、その後、自分たちの活動をあえて手伝ってもらう。次は、来た人がその後きちんと付き合っているか。お付き合いせずに、他の人に任せるようなことをしていないか。
次は支える。物理的に支える行為もできているか。
任せることも必要です。私はこれが難しいです。新人さんに任せることが出来るところは強いですが、いつまで経っても任せない。やはり私がいないとだめと思っています。
さらに、対話ができているか。新しく来た人と、しっかり向き合って話ができるところは強い組織です。それをしないと、考えがずれて、結果的に任せられないことになる。
新人が来て、良い感じでも、大丈夫かと思って対話をしないとだんだんずれてきて、結果的にその人はやめてしまいます。
最後に、離れることです。任せるとは、少し違います。視界から外れます。特に強いリーダーは担い手から離れられないのです。だから、私の組織は問題があるのです。
８つの項目がうまく機能していると「リクルート力」が高いと言います。
ご自身の団体、組織はいかがでしょうか。これを最初の課題としたいです。「リクルート力チェックシート」が配布されています。自分のところはどうか。
ひとつめは「知らせる・関心をひく」です。大船渡被災地支援 ESD プロジェクト登録人数 100 人以上。この２～４月も支援に行きます。６年間やっていて 100 人です。うまくいっていません。理由は大したことができていないので、これをやった、あれをやったと誇大に宣伝の必要がないと言ってきたので、結果的に自分たちの活動を周りの人に知らせていないのです。皆さん知らないでしょ、このプロジェクト。
次は「さそう」力も、これは学生が個別にしてくれているかもしれませんが、「行こうよ」と強くあまり言えないのです。人を誘うと「ノー」といえなくなると思っています。同じ様な人間が行くことになってしまいます。
「おもてなしをする」は３ポイント。来てくれた人には丁寧に「よく来てくれたね」と言います。
時々、私がフリーズさせることもあります。学生の中には、就職活動に有利なので、参加するという人がいます。それを聞くと私が怒るので、それで何人かいなくなります。
「手伝ってもらう」も弱いです。手伝いの時は自分の自発性でやってくれと言ってしまって、隙を作らず、自分でやってしまうのです。
「付き合う・付きそう」それは意識をしています。一人でするのはかわいそうなので、一緒にやろうと言っているので３ポイント。
「支える」も２ポイント。「対話する」は弱いです。普段は忙しさにかまけて、学生と対話する時間が少なくなっていますし、学生も忙しいです。アルバイト、授業、プロジェクトと、ゆっくり対話する時間がとれてないので、これは１ポイント。
「任せる・離れる」ができません。今、努力目標としているので、２ポイントにしました。私のプロジェクトを整理するとこうなりました。
それを線で繋ぎます。レーダーチャートといいます。
理想は、外側に広がる。私の場合は弱いとこだらけです。どこから変えていこうかと考える１つの材料になります。これを皆さんにしていただきたいです。
この場合、ご自身がある団体や組織で、一生懸命やっている場合を想定してください。リクルー

ト力があるかないかです。書きづらい、書いてしまうとまずいと思っている人は、逆の立場で、自分がリクルートされることが人生の中であったと思います。どこかの具体的な組織や団体を想定してください。抽象的なもの架空なものではダメです。そこのリクルート力はどれくらいであるかです。誘われて行ったが、ダメだったとか、あると思います。

皆さんのチェックシートには、団体、または組織の名称を書いてください。具体的なものを書くと差し障りがある場合は「〇〇生花サークル」とか、あえて無さそうなものや〇〇小学校 PTA などです。これで作業をしていただくので、差しつかえない程度に、組織や団体の名称を書いてください。

ここにいる人は担い手づくりをしたい人がたくさんなので、自分の組織の名前を書いて、どういうリクルート力を持っているか書いてください。

あなたのお名前を書いてもらいますが、最終的に総得点を計算してください。私の場合は 1 ポイントから始まって、全部で 16 ポイントです。32 点満点中 16 点しかない。これでは、リクルート力が弱すぎて先行きおぼつかないです。

何点だからどうとかは言いにくいですが、総得点は何点か数えてください。

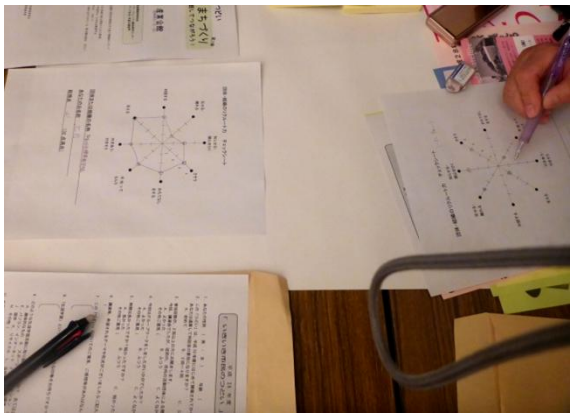
まずは、個人作業です。これから個人作業をしていただき、その後、ディスカッションをします。

フリーズしていますが、だんだん溶かしていきましょう。個人作業です。

自分の関連の組織、団体のリクルート力をチェックシートに書いてください。

時間は 7 分くらいです。始めてください。

議員さんがいらっしゃるかもしれませんが、その場合は、自分の政党や政治集団でも構いません。



（テロップ）「リクルート力について 7 分間」

よくわからない人は、隣同士で相談してください。あるいは、私を呼んでください。あまり真剣に考えすぎないように「こんなもんかな」くらいでいいです。ただ、後から説明できるようにしてください。私が説明したくらいの説明をグループ内でしていただくことになります。

「支える」ところは、いろいろな意味が含まれています。組織としてのバックアップです。困っていることがあったら人員を派遣することができるとか、それについての情報やお金を都合するなどの組織的な支えのことです。あまり、考え込まないでください。

自分の組織の担い手をつくる力がどれぐらいあるかを整理整頓するために、作ってください。

あと 1 分ぐらいです。線で繋いでください。まだ時間がいる方、挙手してください。

会場／ シートができあがる。

松岡／ いろいろなレーダーチャートが作れたと思います。

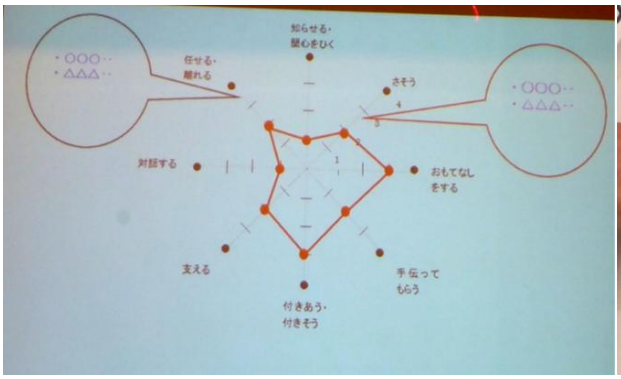
他の人はどういうレーダーチャートか関心があると思いますが、ここからグループで話し合いを進める段階です。グループの数が３人のところもありますね。６人のところがあり多いですね。１人移動をしていただきます。
では、これから作業を進めますが、皆さんのテーブルに、大きなレーダーチャートのシートが配られました。このレーダーチャートを合体させてください。それぞれのメンバーのレーダーチャートを書き写してください。
その際、ご自身のペンではなく、テーブルの上にペンがあります。１人１本、好きな色を持って、色を変えて、レーダーチャートを作り上げてください。まず、１本選びましょう。自分の好きな色を持って下さい。持てましたか。レモン色は見えづらいと思いますので、濃い目の色を選んでください。それぞれ持ちましたか。これから話し合いをもっていただきますが、少し待ってください。まだ書かないでください。グループで集まっていますが、名前も顔も一致しないと思います。自己紹介を簡単にしてください。最も単純な自己紹介で、自分の誕生日、覚えていますか？例えば私は10月19日生まれの松岡 広路です。よろしくお願いします。これを全員グループで、他の人に自分の名前と誕生日を紹介します。最初にご挨拶してください。「何月何日の〇〇です」と。誰から始めるかは阿吽の呼吸で決めてください。

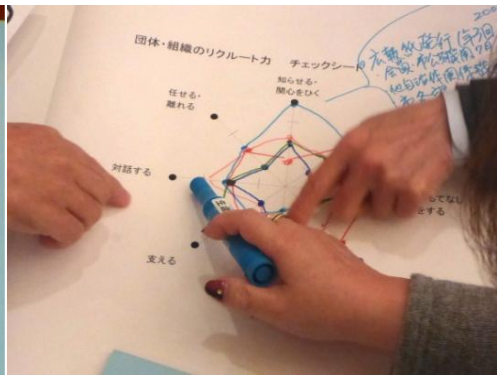
会場／自己紹介中
（テロップ）〇月〇日の〇〇です」昭和何年生まれとは言わなくて良いです。

松岡／ 終わりましたか。まだのグループは教えてください。
皆さんのグループで、正月からみて、一番早く生まれた人、早く生まれた人から順番にシートに記入してもらうのですが、自分はこういう組織を想定した、なぜそのポイントを選んだかを簡単に説明しながら、誕生月が早い人から順に説明しながらやっていきましょう。６～７分、そんな時間では短いので、20分間くらいで自分の組織のリクルート力を紹介してください。

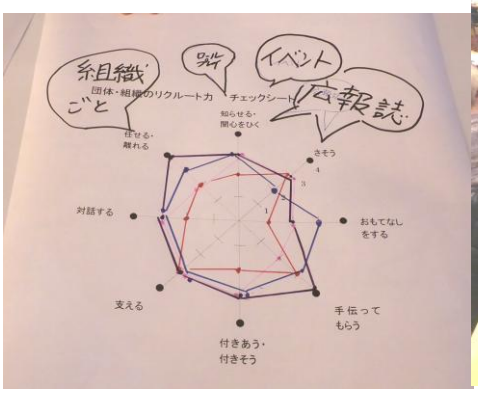
（テロップ）「リクルート力」について、20分間。

松岡／ ゆっくり紹介してください。自分の組織、団体、活動の紹介もしながら進めてください。
半分くらいの方の話は終わりましたか。
後１分です。話をまとめてください。まだまだまとまらないところは？活動、団体の事情を説明してください。では、それぞれご自分の想定された団体や組織のリクルート力、どこまで人を誘い込んで、育てる力があるのか、事情を説明されたと思います。話が止まらないと思いますが、次の作業でもっと話してください。事情を聴いているだけでは、面白くないですから、この先は、「リクルート力」をアップさせるために、どういう工夫をしたらよいか。事情を聴いたはずなので、それに合わせながら、かつ、他の組織や団体でも使えそうだとか、グループで話をするので、こんな工夫、アイデアがあるよと、シートの中に記入してください。前のスクリーンを見てください。
アイデアがあると吹き出しを作って書いていただいたらいいです。
私のプロジェクトでは誘うところが弱いので、どういうことをしたら良いのか、パッと思いつかなかったですが「あなたのところの団体はこうしたら良い」とか、自分のところはこんなことをしているなど、出してください。どのように進めるかは皆さんの自由です。






深刻な部分からでもいいですし、簡単なところを知らせるとか関心を引くような工夫やアイデアは出しやすいはずです。実行するのは難しいです。皆さん、広報紙を発行していますか？
広報紙を発行していない人、ホームページを立ち上げている組織、挙手を。
ブログを立ち上げている組織、フェイスブックのアカウントを持っている組織は？
知らせる、関心を持たせるための広報媒体を持っているだけです。それが届いているかは難しいが、届かせる工夫が大事です。それぞれの項目の間に、こういう方法があると記入してください。
グループで、リクルートチェックシートを広げる工夫、うまくいっているグループは、ノウハウを開示してください。うまくしているグループもある。
15 分間でできるだけたくさんのアイデアと工夫を出してください。
吹き出しにして書いてください。焦らせることになるかもしれませんが質より量と思ってください。それくらいのつもりで、工夫やアイデアを。15 分間です。よろしいですか。書く人を決めてはじめてください。スタート！



（テロップ）工夫・アイデア書き込み、15 分間。

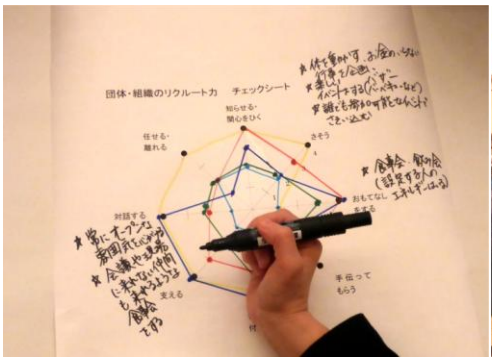
松岡／ グループのメンバーが喋ったことをその場で書く人を作って下さい。後からまとめて書く時間はありません。その場でどんどん書いてください。ペンの細い方を使って書いてください。アイデアや工夫を選ばなくていいです。そのまま、書いてください。
15 分経ちました。ここで休憩にしたいと思います。３時 20 分まで休憩にします。
10 分間の休憩です。
休憩中ですが。後ろにお茶を用意しています。チョコレートもあります。

休憩１０分

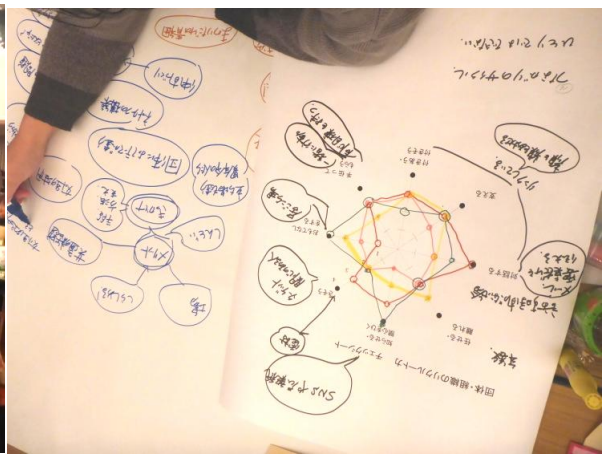
（テロップ）「３時 22 分、再開」

松岡／ では再開します。ご着席ください。
飲み物は持っていってもらって結構です。
では、次のセッションにいきます。ご着席ください。
用事があって帰られた人もいるので、グループの人数が減っているところもありますが、このまま続けていきましょう。
今、皆さんで、リクルート力を高める工夫をしていただきました。
別の言葉で言えば、人材を発掘、育成するために、いろいろなところに、タッチしなければいけなくて、人を集めなければいけません。自分の周辺だけで組織を動かそうとすると、無理が出てきます。人をリクルートするための方法、工夫を考えてくれたと思います。

ここからは「ワールドカフェを楽しみましょう」というセッションをします。「ワールドカフェ」聞いたことがありますか。「世界のカフェ」です。
「カフェ」は何かわかりますか。飲み屋のカフェも最近はありますが、つまり、皆さんのグループはカフェで、自分のカフェでお茶を飲みながら、話をしてリクルート力をアップするために工夫をしました。
他のカフェではどんな話があったのか関心が湧いてきますね。
他のカフェに出かけて、いろいろな情報を収集して、また元のカフェに戻るという時間を作ります。これを「ワールドカフェ・ワークショップ」といいます。
いろんな人との出会いを楽しみます。
適当に見て回るのではありません。カフェには定員があります。例えば定員は４人です。カフェにはオーナーがいます。誰か１人に残ってもらいます。残りの人たちは、違うカフェに出かけていきます。
他のところからやってきて、３人になったら話し合いをします。それでは、それぞれのカフェで、１人だけ残して下さい。誰が残るかは相談してください。
それ以外の人は、できるだけバラバラになってください。同じカフェのメンバーがいないところに出かけて他のカフェに参加します。そのカフェで「担い手づくりをするためにはどうしたらいいの」をテーマに、話の花を咲かせてください。



深刻に考えるだけでなく、アイデアを持ち寄って「こんなやり方もある」と、いろんなところから情報収集をします。４人のグループで、３人が他のカフェに行くことになります。
何度か行った後に、１回のセッションは 15 分ぐらいです。
最後に基本のカフェに戻ります。今いる所が基本のカフェ、グループです。それではカフェ巡りをしてもらいます。
最後に戻って、お土産話をします。この方法で行います。
オーナーさんは大変です。よく頭に入れておいてください。これからやるのは、居酒屋ではありません。
居酒屋の親父の気分では困ります。おとなしい人は、喋れなくなります。おとなしい人でも話せる雰囲気にして欲しい。できるだけ多くの人が喋れるように、カフェのオーナーさんは工夫をして欲しいのです。
自分ばかり話す人がいたら、それとなく話を終わらせる、大きな声の人がいたら、どんな風に静めるかは腕の見せ所です。静かなお客さんにも話を向けて欲しいのです。
お話を聞きながら、シートにペンで書き写してください。シートは小さいですから、新しいアイデアを次の人がくれたら、そこに書いてもいいですが、その下の模造紙にどんな話が出たかメモをしてください。
カフェのオーナーは、純喫茶のマスターで人の話を向けると同時に、どんな話が出たか、書き込みます。要領は、全部話しを聞いてまとめて書くのはだめです。単語を落としながらするとスムーズです。トレーニングが要りますが、聞きながらまとめてください。
「スタート」で、カフェのオーナー以外は散らばります。定員に達したら、話し合いを始めます。
カフェのオーナーは、最初に、それぞれのお客さんの自己紹介を促して下さい。お客さんが誰かわからなかったら、話になりませんので。



自分の所属団体を言ってもいいですが、ごく簡単にしてください。ここで時間をかけると、後で

時間が足りなくなります。その後、カフェのオーナーさんは、自分のカフェでどんなアイデアが出たのか、簡単に紹介してください。その後、お客さま方に、自分がどう思うかなどを話してください。後はお客さんの話を聞いてください。
基本グループでの話し合いは、既にしたので、カフェ巡りに入ります。１回 15 分間です。
15 分経つと「チェンジしてください」と時間になったことをお知らせします。
時間の許す限り、そのやり方を繰り返します。このメリットは、１人は２回くらいしか行けないですが、メンバーで３人いたら６グループの情報を持ち帰ることができます。最後に、自分たちのグループでどんな担い手づくりの工夫があるか、とりまとめてください。
時間があり、３回も４回も繰り返すと、全てのグループが同じになります。やり方わかりますか？
１分以内で、オーナーさんをグループで決めてください。合図をしますので、それまでは座っていてください。今、座っているグループで残る人を決めてください。
オーナーさんは、手を挙げてください。カフェのオーナーさんは、自分のグループの定員を意識してください。定員を満たすように客引きをしてください。
他の人たちは、荷物は自分の持てるものだけで移動しましょう。では、移動してください。

（テロップ）カフェめぐり、１回 15 分間。

松岡／ オーナーさんはＰＲをしてください。うまくＰＲをしないと、定員を満たせません。
① 自己紹介
② カフェのアイデア紹介(オーナー)
③ お客さんの話
定員になったグループのオーナーさんは挙手を。もう始めていますか。ちょっと待ってください。
定員がそろっていないところは、挙手をしてください。

会場／ ５人です。

松岡／ ５人では多すぎるので、自発的に移動してください。３～４人でないと、困りますが大丈夫ですか。これを新定員としましょう。
実は３人が一番話しやすいです。４人にしたいですか。不公平もあるので４～５人定員にします。
では、これから第１セッションを始めます。
オーナーさん、自己紹介を促してください。
自己紹介の後、次は、何をしますか？オーナーさんが自分たちの工夫を話します。その後、自由に話してもらいます。お話の間、オーナーさんはメモをします。スタートしてください。

あと２分程です。２分で話をまとめてください。

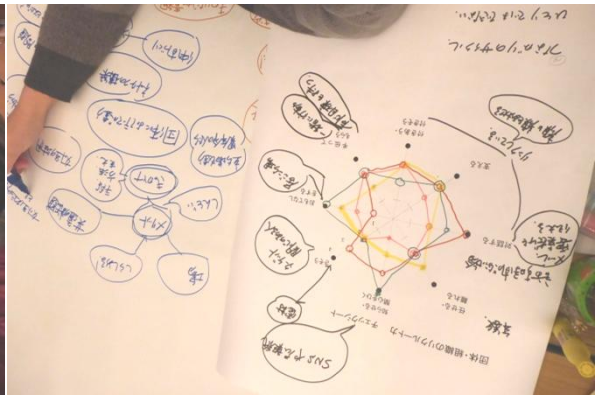
（テロップ）カフェめぐり、残り２分。

松岡／ オーナーさん、よろしくお願いします。

第１セッションの話を切り上げたいと思います。お話をまとめてください。

そろそろ終わりたいと思います。話がとまったグループは、そのグループ全員で手を挙げてください。手を挙げ続けてください。全ての手が挙がるまで待ちます。話が止まったグループは全員挙手をしてください。セッションが終わったときに「話を止めてください」と言います。話が終わったら、全員が挙手をします。そうしないと話が止まりません。

次は、第２セッションにいきます。前のグループと人が重ならないようにしてください。オーナーさん、少し慣れましたか？居酒屋の親父では駄目ですよ。自分が話し続けてはいけません。お客さんをもてなしてください。定員がきちんと集まっていますか？オーナーさん、自分でリクルートしてね。定員を覚えていてください。あと１人、どなたか移動してください。揃ったら、手を挙げて。第２セッションに入ります。やり方は同じです。自己紹介を促し、その後、説明を１分くらいして、お客さんの話を聞きます。カフェのオーナーさんで喋りすぎた人、気をつけて。スタート。



（テロップ）カフェめぐり、２回目 15 分間。

① 自己紹介

② カフェのアイデア紹介 （オーナーの話１分程度）

③ お客さんの話 （オーナー、書き込み）

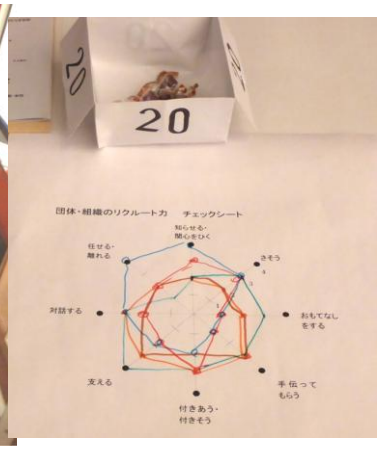
あと１分で話を止めてください。

（テロップ）「カフェめぐり」残り１分で話を止めてください

松岡／ 話がとまっていたら、元のグループに戻ってください。
話が終わったら、解散して元のグループに戻ってください。
最初のグループに戻ってください。まだお話が終わっていないところがあります。
元のグループに戻りましたか。カフェめぐりはいかがでしたか？私もワールドカフェは、参加者で参加したこともあれば、総合進行をする場合もありますが参加者の方が楽しいですね。
ホームに帰ったときに、最初のグループに戻るとホッとしませんか？
旅のお土産話、あるいは訪問してくれた人で、こんな話があったなど、皆さんのグループで紹介しあってください。こんなアイデアもあったとか、10 分間で簡単に。
全員がうまく喋れるように、オーナーはうまくコントロールしてください。
お土産話タイム、始めてください。

（テロップ）お土産話会、10 分

松岡／ そろそろ時間です。




話を止めて、私のほうに注目してください。なかなか止まりませんね。いろいろなアイデアや、豊かな話があったようですが、どうでしたか？いろいろな人の話が聞けましたか？
みなさんにヒントになることや、自身を見つめ直すことがあればいいと思います。
私には、何をしてくださいますか？
私や事務局の人には、皆さんの豊かな情報や知恵をほとんどもらえないままになります。
残念ですが、また岸和田の皆さんの中に混ぜてもらえることを積極的にしたいと思います。
この後、本来なら「つどい」を企画する人もいると思います。

理想的なのは、また別のテーマについて議論します。
今までもらった情報を踏まえて、これから、岸和田市全体で、人材を育てる、あるいは担い手をつくるために、いったいどんなことをすればいいか。
なぜ全体かというと、担い手づくりと言っても、自分の組織だけではなくて、ここに一堂に介しているということは、岸和田人をどうやって育てるかになりませんか。
岸和田を好きな人、暮らしたい人、残したい人、これらを、どう私たちは育てればいいかをテーマに議論します。岸和田の人間を育てるために、何ができるか、何をすれば良いか。
それを全体で議論したりもします。私は司会進行をしながら、今までのワークショップを経て、みなさんが今考えることはどんなことでしょう、などをする。それをやるとあと、1時間要ります。
リフレクションシートを配布しています。
「リフレクション」とは、振り返って考えるということもありますが、今、あなたはどんな気持ちというのを書くシートです。「振り返りシート」ともいいますが「振り返り」というと、しっかり考えなければなりません。今あなたはどう思っているかをシートに書いてもらいます。読み上げます。感じたままを以下の文章を完成させる形で書いてください。文章が長いとおかしいですね。例えば「私が楽しかったのは〇〇です」と書くのにダラダラ書かれると困ります。例えば「チョコレートを一緒に食べたことです」でも良いです。書ける所を書いていただく。全部じゃなくていいです。
「私が辛かったのは」というのは、ないですね。
私が「これからしたい、考えたいのは〇〇です」など、短い言葉で書いて欲しいのです。
このあと、書いたものを私がインタビューします。読みやすい所を読んでください。
皆さんがどう感じ取ったか、１人の声を出してもらって、全体でシェアします。普通のペンでいいです。３分間です。全部書かなくても良いです。書きやすいところを書いてください。１～２つくらい。まだ書いている人もいると思いますが、ここで、僕がマイクを回しますので、どれか１つを、そのまま読み上げてください。できるだけたくさんの人の感想を聞きます。
マイクを向けられたら、選んでくださいね。

会場／ 私が楽しかったのは、いろんな人といろんな話ができたことです。
松岡／ ありがとうございました。
会場／ いろいろな人と話し合えたことです。
会場／ 驚いたのはいろんなグループが参加していることです。
会場／ 驚いたのは、自分より高齢の人が元気なことです。
会場／ この場にいることが、私にとって幸せなことです。
会場／ なるほどと思ったのは、会話が第一番だと思いました。
会場／ いろいろな人と語り合ったことです。
会場／ 心配なのは、６時に難波に間に合うかどうかです。（笑）
会場／ 驚いたのはたくさん参加してくれたことです。
会場／ 驚いたのは池田市の例を聞いて、地域に予算を付けているということです。
会場／ 驚いたのは、皆さんの元気です。
会場／ なるほどと思ったのは、知り合いから友人になればいいということです。
会場／ 地域が裏社会で、それに気づいている人が多いということです。
会場／ 同じですが、いろんな人の意見を聞けたことです。

会場／ 私が驚いたことは、皆さんがすごい、ということです。
松岡／ 驚いたことが多いですね。
会場／ 私が心配なのは、今日の話し合いを今後どう活かすべきかということです。
松岡／ ぜひとも言いたい人。
会場／ 私がこれからしたい、考えたいことは、しばらく自分の時間を取りたいです。（笑）

松岡／ これから難波に行かないといけない人もいますのでこのあたりでまとめます。
私は、今日のこの時間をどう作るかで悩みました。皆さんとじっくり話し合って、出会いを楽しんでもらうか、アクションプランを作るワークショップ、具体的にこれをするという、企画書を作るワークショップにしようか、どちらか悩みました。
岸和田で担い手をつくる、リクルート力を高めるには、こういうことを皆でやれば良いと思います。計画できると思います。これを本当にやらないと、単なる打ち上げ花火ですよ。打ち上げ花火もきれいで良いのですが、これから先どうするかしっかり考えて、ネットワークを活かせればと思います。生涯学習審議会の委員もすることになっているので、エネルギーが湧くようなご支援をしたいと思います。
これからも皆さん、元気で頑張りましょう。お疲れさまでした。ありがとうございました。(拍手)

司会／ 松岡先生、本当にありがとうございました。ご参加の皆さま本当にありがとうございました。
私もリフレクションシート、私が感じていることを話します。顔と顔を合わせて話す場が必要だと感じました。「いきいき市民のつどい」が今後も続けていけたらいいと思います。よろしくお願いします。これで平成 28 年度「いきいき市民のつどい」を閉会いたします。

松岡／ リフレクションシートのところ、たくさん書いておられますので、氏名を書いて、できれば置いて帰ってください。私が見たいので。時間とゆとりがある方は、メッセージを書いてくださったら嬉しいです。リフレクションシートも帰りに受付にお願いします。
要約筆記をしてくださったのでとても嬉しかったです。
これからも、いろんな協力し合うワークショップをしていきたいと思っています。
地域でこういう「つどい」をするときは、ぜひ試してみてください。
今日は、話が早くなったり、遅くなったり大変だったと思います。
同時通訳、ありがとうございました。
また、お願いします。最後に拍手をお願いします。(拍手)

# 資料編

◇◇◇アンケート用紙

◇◇◇アンケート集計結果

◇◇◇リフレクション･シート

◇◇◇リフレクション･シート集計

◇◇◇第 19 回いきいき市民のつどい　チラシ

平成 28 年度

# 「 いきいき市民のつどい 」 アンケート

１．あなたの性別　（ 男 ・ 女 ）　　年齢　（　　）歳代

２．この「つどい」は、平成 10 年度にはじめて開催されてから今回で 19 回目となりますが、
あなたは通算して何回目の参加になりますか？
Ａ．初めて　　Ｂ．２回～４回　　Ｃ．５回以上

３．参加回数が、２回以上の方にお聞きします。
今回、講演会でしたが、従前の、市内の活動団体による発表及び分科会形式と比べ、どうでしたか？
Ａ．よかった　　Ｂ．ふつう　　Ｃ．よくなかった　　Ｄ．特に何も感じない
その他ご意見（　　）

４．今回はグループワークをしましたがいかがでしたか？
Ａ．よかった　　Ｂ．ふつう　　Ｃ．よくなかった　　Ｄ．特に何も感じない
その他ご意見（　　）

５．時間は長かったですか？短かったですか？
Ａ．長かった　　Ｂ．ふつう　　Ｃ．短かった　　Ｄ．特に何も感じない
その他ご意見（　　）

６．講演等、希望されるテーマや形式がございましたらご記入ください。
（　　）

７．この「つどい」についてのご意見、ご感想等があればなんでもお書きください。
（　　）

８．「生涯学習」という言葉にどのような印象をお持ちですか？
（　　）

９．どのような生涯学習活動に取り組んでいますか？　あてはまるものすべてに○をつけてください。
Ａ．趣味的なもの　Ｂ．スポーツ、レクリエーション　Ｃ．家庭生活に役立つもの　Ｄ．健康
Ｅ．パソコン、インターネット　Ｆ．福祉　Ｇ．環境　Ｈ．ボランティア　Ｉ．育児、教育
Ｊ．語学　Ｋ．リサイクル　Ｌ．自然体験、アウトドア　Ｍ．社会問題
Ｎ．その他（　　）

10．生涯学習をしていて、困ったことがありますか？　あてはまるものすべてに○をつけてください。
Ａ．時間のやりくり　Ｂ．費用がかかる　Ｃ．施設が遠い　Ｄ．情報が分からない
Ｅ．施設が使いにくい　Ｆ．場所がとれない　Ｇ．利用手続きや講座の申し込みが面倒
Ｈ．仲間がいない　Ｉ．周りの理解がない　Ｊ．きっかけがつかめない
Ｋ．その他（　　）

11．今回のこの「つどい」を何でお知りになりましたか？
Ａ．市の広報（ホームページ）　Ｂ．情報紙（市の広報以外）　Ｃ．チラシ・ポスター
Ｄ．知人などの紹介　Ｅ．所属団体の動員要請
Ｆ．その他　（　　）

**ご協力ありがとうございました。**

平成 28 年度

# 「 いきいき市民のつどい 」 アンケート　集計

（63 枚／99 人）

１．あなたの性別　（　男 27 人　・　女 36 人　）

年齢 20 歳代 1 人・30 歳代 7 人・40 歳代 6 人・50 歳代 13 人・60 歳代 23 人・70 歳代 13 人

２．この「つどい」は、平成 10 年度にはじめて開催されてから今回で 19 回目となりますが、
あなたは通算して何回目の参加になりますか？

Ａ．初めて　29 人　　Ｂ．２回～４回　20 人　　Ｃ．５回以上 14 人

３．参加回数が、２回以上の方にお聞きします。
今回、講演会でしたが、従前の、市内の活動団体による発表及び分科会形式と比べ、どうでしたか？

Ａ．よかった　31 人　Ｂ．ふつう　5 人　Ｃ．よくなかった　0 人　Ｄ．特に何も感じない　0 人

その他ご意見

・他の団体の人知り合いになれるような場を作ってほしい。
・全体の中身を知りたい。
・団体の特性あり

４．今回はグループワークをしましたがいかがでしたか？

Ａ．よかった　50 人　Ｂ．ふつう　9 人　Ｃ．よくなかった　1 人　Ｄ．特に何も感じない 0 人

その他ご意見

・初めてなのでよくわからない。
・講演の中で話すだけでなく、動きがあったのが参加者にとってもみんなと一緒にという感じがありました。
・「なぜ参加したの？みんな団体に所属してそのことを話し合っているのに」と言われた。
だれでも参加できるつどいでは？

５．時間は長かったですか？短かったですか？

Ａ．長かった　15 人　Ｂ．ふつう　36 人　Ｃ．短かった　7 人　Ｄ．特に何も感じない　2 人

その他ご意見

・予定時間は守ってください。

６．講演等、希望されるテーマや形式がございましたらご記入ください。

・地震について科学的な内容。
・防災について。
・このまま続けてもらいたい。
・子どもについて。
・未来のこどもを育てるには。
・地域についての具体的な問題に対する解決について。

７．この「つどい」についてのご意見、ご感想等があればなんでもお書きください。

・色々な団体、人と知り合えた。(6)
・楽しく参加できました。(2)
・今日の結果をフィードバックしてほしい。(2)
・今日来てよかった、またやって欲しい。(2)
・たくさんの人とつどう時間が持てた。(2)
・松岡先生、ありがとうございました。
・「新しい出会いの場」がよかったです。
・話を聞くだけでなく、色んな意見を話し合える場として続けてほしい。
・パワーポイントの画面が見にくかった。
・色々な立場の人が参加しているので、話の焦点が難しいと思った。

８.「生涯学習」という言葉にどのような印象をお持ちですか？

・漠然としていて具体的なイメージが浮かばない。難しい。(2)
・理解しにくい言葉です。
・あまり気にしない。
・古くさいイメージ。今の若い人になじむ言葉はないか？
・まだ、わからない。
・いい言葉だと思います。
・色々な意味で人生は学習。
・市民としての義務や主権者、有権者としての学びや活動。
・生活を明るく、希望の持てる方向へ導く機会。
・かたい感じがする。人生の楽しみ方、時間を共に歩む　に変更してはどうか。
・人間一生学習をする。そのことが、人生を楽しく過ごせる。ということを公民館で教わり、知ることができました。
・頭がついていく限り頑張る。
・生涯学び続ける。
・希望のひとづくり・まちづくり。

９．どのような生涯学習活動に取り組んでいますか？　あてはまるものすべてに○をつけてください。

Ａ．趣味的なもの 13 人　Ｂ．スポーツ、レクリエーション 11 人　Ｃ．家庭生活に役立つもの ３人
Ｄ．健康４人　Ｅ．パソコン、インターネット３人　Ｆ．福祉 13 人　Ｇ．環境 ３人
Ｈ．ボランティア 19 人　Ｉ．育児、教育 ６人　Ｊ．語学１人　Ｋ．リサイクル０人
Ｌ．自然体験、アウトドア ３人　Ｍ．社会問題 ４人
Ｎ．その他　（祭り・健老大学）

10. 生涯学習をしていて、困ったことがありますか？　あてはまるものすべてに○をつけてください。

Ａ．時間のやりくり 20 人　Ｂ．費用がかかる ７人　Ｃ．施設が遠い １人
Ｄ．情報が分からない ７人　Ｅ．施設が使いにくい８人　Ｆ．場所がとれない ４人
Ｇ．利用手続きや講座の申し込みが面倒 １人　Ｈ．仲間がいない ２人
Ｉ．周りの理解がない１人　Ｊ．きっかけがつかめない ２人　Ｋ．その他（　　）

11. 今回のこの「つどい」を何でお知りになりましたか？

Ａ．市の広報（ホームページ）10 人　Ｂ．情報紙(市の広報以外)１人
Ｃ．チラシ･ポスター 13 人　Ｄ．知人などの紹介 15 人
Ｅ．所属団体の動員要請 19 人　Ｆ．その他　３人

**ご協力ありがとうございました。**

# リフレクション・シート

氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

今日の時間をふりかえりましょう。
感じたままを、以下の文章を完成させる形で書いてください。
全部の文章を完成させる必要はありません。

■ 私が驚いたのは

です。

■ 私がたのしかったのは

です。

■ 私が気にかかったのは

です。

■ 私がなるほどと思ったのは

です。

■ 私が疑問に感じたのは

です。

■ 私が心配なのは

です。

■ 私がこれからしたい、考えたいのは

です。

■ 私たちがこれからしなくはならないのは

です。

■ そのほか　今、私が感じていることは

です。

# リフレクション・シート（集計）　※45 枚／99 人

今日の時間をふりかえりましょう。
感じたままを、以下の文章を完成させる形で書いてください。
全部の文章を完成させる必要はありません。

■　**私が驚いたのは**

・いろんな活動をされる方がおいでるということです。
・地域社会で閉鎖性に気づいている人が多いです。
・こんなにいろんな団体があることです。
・テーブルにチョコレートがあったことです。
・若い人が少ないことです。（２）
・みなさんの活動へのバイタリティーです。
・自分がファシリテーターをしたことです。
・いろんなグループが参加していることです。
・行ったテーブルの人全員が食改を知らなかったことです。
・来ている人は元気な人が多いです。
・所属する団体などによって、とらえ方、考え方が違うことです。
・みんな真剣に参加していたことです。
・みなさんの元気です。
・年齢差が大きくなったことです。
・逆転発想です。
・ホームページ・SNS を通じての情報開示です。
・他市の例で地域に予算をつけていることです。
・たくさんの人が集まったことです。
・自分よりも高齢な方がとてもお元気なことです。
・否定的な考えが少なかったです。
・多くの団体が参加していたことです。
・みんながリラックスして意見が多様なことです。
・多くの団体が参加していたです。
・多くの人が関心を持っていることです。
・色んな団体があることです。
・たくさんの団体があること。顔が見えたことです。
・文化系だけでなく、いろんな職業の方の参加です。
・みなさんがすごく熱心だったことです。
・熱心な会合出席者です。
・みなさんお話が上手なことです。
・時間がたつのが早かったことです。
・みなさん“すごい”ということです。
・みんな真面目です。
・「市民のつどい」の内容が濃かったことです。

■　**私がたのしかったのは**

・いろんな人のいろんな考え方を聞けたことです。
・初対面でもきさくに話してくれたことです。
・ワールドカフェの時間です。（４）
・休憩です。
・会話です。
・いろいろ活動している人と話ができたことです。
・グループの人と話ができたことです。
・初めての人と話せたことです。
・黙っていてもドンドン意見が出たでことです。
・初めて会った人とお話しできたこと。
・チョコレートが出たことです。
・チョコレートを食べたことです。
・初めて会った方と同じ悩みについて考えあったことです。
・初めての人とも安心して話ができたことです。
・色んな立場の方とおしゃべりができたことです。
・いろいろな意見が聞けたことです。
・会場が自由な場であったことです。
・自分達の世代は満足かな。
・他団体の人と話ができたことです。
・多くの人と話ができたことです。
・いろいろな人の話を聞くことができたことです。
・仲間以外の人と話ができたこと。
・久しぶりの方と会えたことです。
・いろんな人と話ができたことです。
・みなさんと共に意見交換です。
・いろんなお話が聞けたことです。
・たくさんの人とお話ができたことです。
・思わぬ人に会えたことです。
・会話です。
・年齢、立場の異なる人と話したことです。
・グループワークでたくさんの話を聞けたことです。

■　**私が気にかかったのは**

・行政が関わっている団体とボランティア中心の組織の体制の差です。
・高齢者社会です。
・相手の言い分を聴かずに、自分の団体の自慢話をする人がいたことです。
・年齢層が高いことです。
・個人としての主張にです。
・担い手づくりです。
・昨今の SNS 事情についてです。
・どこも後任者づくりに苦労していることです。

・やっぱり悩みは同じです。
・時代によって求めることも求められることも変化することです。
・問題点と課題が出るけど、なかなかアイデアが出ないです。
・担い手問題です。
・上下関係で会話ができないことです。
・平均年齢は・・・・です。
・先入観を持つ人が多いです。
・LINE とかで人と接しない人です。
・もっとこの「つどい」を広報すべきです。
・この「いきいき市民のつどい」を今後どう活かしたらいいのかです。
・ボランティアの高齢化です。
・今回の結果です。
・このことを生かせるかです。
・うまくカフェオーナーできたかなということです。
・職業が違う人と討論しにくい面があることです。
・みなさん活動する中で色々悩みがあるのだと思ったことです。

■　**私がなるほどと思ったのは**

・こんな風に考えれば問題がすこしみえてくるのかです。
・地域や伝統の承継に不安をもつ人が多いです。
・「まずは、自分たちが楽しそうにやってないと」と言う言葉です。
・会話が第一ということです。
・日頃行っていることではありますが、交流をする、ネットワークを組む、連携する、知ってもらうことです。
・岸和田の人は熱かったです。
・悪印象もひとつの印象です。
・若い人を誘うには手段を考えることです。
・結局人との対話が大切なこととわかったことです。
・情報はたくさん出しても、一方通行になりがちだということです。
・みんなで語り合う時間の共有と継続です。
・参加者をボランティアに取りこむことです。
・祭りの関わりが大切だなあと思ったことです。
・この人が若く見えるのは、何か活動しているからだと思ったことです。
・チェックシートの項目は全てつながっているということです。
・よく問題が重なっていることです。
・仲良くなれたことです。
・こんな方法があったのかです。
・（任せる、離れるとは口出しをしない）（知り合いから友人になればいい）です。
・日常生活の身近なこと程問題が多いです。
・言葉にするのが大切です。
・やはり人とのつながりが大切だということです。
・自分が活動を楽しんでいれば、人は自然と集まるということです。

・組織のリクルート力は人のつながり、社会のつながりになることです。
・地域に限らず PR をすることです。

■　**私が疑問に感じたのは**

・祭礼団体に仕事を頼むことです。
・だんじり関係者の団体の名前が出ていないことです。
・情報開示により守秘義務がどうなるかです。
・各団体ではなく、市全体としてどうするかです。
・社会の閉鎖された空気を打破する行動をしないことです。
・この「つどい」を人づくりまちづくりにどう生かしたらいいのかです。
・市の関係者が少しすくないです。
・このつどいは気軽に参加できるのか？ということが率直なところです。
・どう自分のサークルを知ってもらうかです。

■　**私が心配なのは**

・ボランティアに支えられている活動の持続（今後）の可能性です。
・閉鎖された社会がこらからも続くことです。
・今の団体は維持できるかどうかです。
・参加の農家の方から聞いた農業の過疎化問題です。
・太り過ぎです。
・これからの自分の団体のことです。
・やっぱり若い人たちへのバトンタッチです。
・これからの地域社会、つながりはどうなるかということです。
・このみんなで学び考えることが途絶えることです。
・この国の人々はまわりの幸福ばかりを考え､よその国の脅威に心配していないこと。
・これで岸和田だいじょうぶです。
・ゲームばかりしている子です。
・今日の話し合いを、今後どう全体で生かすかです。
・他の人の意見を聞かなくなることです。
・こどもの貧困です。
・今後の岸和田市、行く先です。
・自分の家のことです。
・４時に早退させてもらうつもりができなかったので、今後のことが心配です。
・さまざまな担い手をつくるのが難しい今の社会です。
・次の担い手がいるのか？です。

■　**私がこれからしたい、考えたいのは**

・具体的な行動です。
・幅広い連携、共闘できる人とのつながりをつくることです。
・これからの岸和田を考えることです。
・どうすれば「大変だけど、楽しい」「やりがいがある」と思って活動できる市民を増やせるかです。
・活動内容を広めることです。
・所属団体のことを知らせる、次世代につなげることです。

・リクルート力をつけることです。
・高齢者も子どもも誰でも行ける居場所づくりです。
・コーディネーターなど支援の在り方です。
・しばらく自分の時間を取りたいです。
・人と人のつながりを多くすることです。
・自分の所属する組織を元気にすることです。
・市民活動を知ることです。
・子ども（小学生）を見守りたいです。
・今日の話を、自分の団体に生かすことです。
・もっと人を笑わせたいです。
・良いところを見つけ、多くほめてあげることです。
・市の発展です。
・もっとこんなことしたいです。
・今の活動を充実させることです
・みんな楽しく生活できることです。
・学生を団体に引き込むです。
・もっとサークルを広げたいです。

■　**私たちがこれからしなくてはならないのは**

・地域（町会）を越えた連帯活動が必要です。
・風通しのよい地域性を築き、子どもたちに渡すことです。
・自分たちのまちを、自分たちでつくろうと思える人を増やすことです。
・対話です。
・人づくりです。
・他団体とつながること、コミュニケーションです。
・若い人へのバトンタッチです。
・中間支援拠点づくりです。
・PTA で今行っている活動を完全に引き継ぐことです。
・人材育成です。
・興味、関心を持ってくれた人と話をして行くことです。
・岸和田市を元気にすることです。
・生涯発達の考えを広めていきたいです
・市全体に広げることです。
・若い人たちへのつなぎです。
・隣近所が仲よくすることです。
・豊かな人間づくりに努力することです。
・つながることです。
・後継者育成　見通しをもつことです。
・チェックシートのような活動です。
・サークルの雰囲気づくりです。

■　そのほか　今、私が感じていることは

・眠たいです。
・無事終われることです。
・今日のつどいに参加できたことにしあわせを感じていることです。
・ちょっと疲れたことです。
・結局は、一対一の口コミには大きな力があることです。
・実際のアクションを起こすことです。
・初対面の方が昔から知っているかのように思えたことです。
・楽しかったです。ありがとうございました。
・いろんな活動をもっと知ってもらいたいです。
・行政の係わりと援助につなげてほしいです。
・いつまでも元気でありたいです。
・顔と顔を合わすことです。
・またこんな機会があれば出席したいです。
・より多くの人の意見を聴かせてほしいです。
・今日来てよかったです。
・先生に出会えてよかったです。この班の人にも出会えてよかったです。
・スタッフのみなさまお骨折りでしたということです。
・既にいるメンバーは、新しいメンバーをOPENに受け入れることです。
・いろいろ考えさせられました。

平成28年度

第2弾

# 希望のひとづくり、まちづくり

## 担い手づくり待ったなし、寄って話してつながろう！

岸和田市では、地域の中でさまざまな学びや活動をしている人たちがたくさんいます。
それぞれの人やグループが、これから、もっと”いきいき”するために「持続可能な社会づくりのための活動や学び」について、一緒に考えてみませんか。
ワークショップ第2弾ですが、今回はじめて参加する人も大歓迎です。
きっと、新たな出会いや気づきがあるはず！！
これから活動してみたい人、活動している人、みなさん、ぜひ ご参加ください！

講師 神戸大学大学院
**松岡（まつおか） 広路（こうじ） 教授**

人間発達環境学研究科
ヒューマン・コミュニティ創成研究センター
ボランティア社会・学習支援部門

平成27年度のつどいの様子

第19回
## いきいき市民のつどい

生涯学習のまちづくりを、市民ぐるみで推進するために設置された生涯学習推進本部。
参加者みなさんと生涯学習について考え、連携と協働による社会的ネットワークの構築をめざす学習と交流の場として毎年「いきいき市民のつどい」を企画・運営しています。

主　　催：岸和田市・岸和田市教育委員会
企画・運営：岸和田市生涯学習推進本部

《講師紹介》1960年 生まれ
生涯学習、社会教育、福祉活動の研究的実践を多方面で積極的に行っている
専門領域：生涯学習論、人権教育、ESD（持続可能な開発のための教育）
所属学会：日本福祉教育ボランティア学習学会
日本社会教育学会
主な著書：『生涯学習論の探究』 学文社　2006.12
『希望への社会教育～3・11後社会のために～』
東洋館出版社　2013.9

**日時** 平成29年1月28日（土）
午後1時半～4時半

**会場** 産業会館
（別所町3－13－26）

定員130人（申込先着順）参加無料
平成29年1月13日（金）までに電話、FAX、メールまたは、直接、生涯学習課の窓口へ。住所・氏名・電話番号と保育・手話通訳等の有無をお伝えください。文字通訳あります。

◇ 保育：要予約
1歳半～小学3年生の子ども（先着15人）
◇ 手話通訳：要予約

《申込・問合せ》生涯学習部生涯学習課
TEL 072-423-9616　FAX 072-423-3011
メールアドレスsyogaig@city.kishiwada.osaka.jp

市立公民館　ＦＡＸ番号

# 423－3011

（電話番号：４２３－９６１５～６）

平成 28 年度　第 19 回

# いきいき市民のつどい

✧ 氏名、住所、電話番号をご記入ください。
✧ 保育（1 歳半～小学 3 年生、先着 15 人）、手話、要約筆記をご希望の方は、丸印をご記入ください。
✧ 保育をご希望された方には生涯学習課より、お子様の名前と年齢を電話にてお伺いいたします。
**※所属団体がありましたら、できるだけご記入ください。**

| 氏名 | 所　属 | 住所 | 電話番号（ＦＡＸ） | 保育 | 手話 | 要約筆記 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | （　　） | | | |
| | | | （　　） | | | |
| | | | （　　） | | | |
| | | | （　　） | | | |
| | | | （　　） | | | |

日時：平成 29 年 1 月 28 日（土）
午後 1：30～午後 4：30
場所：産業会館（別所町 3 丁目）

**締め切り平成 29 年 1 月 13 日（金）**

平成 28 年度　第 19 回　いきいき市民のつどい

# 希望のひとづくり、まちづくり　第 2 弾

## 担い手づくり待ったなし、寄って話してつながろう！

平成 29 年 1 月 28 日土曜日

◇参加者 99 名　　◇保育児 1 名・保育者 1 名
◇文字通訳者 4 名（大阪ろうあ会館）

本部委員で
受付準備

## 第 19 回　いきいき市民のつどい 記録集

発行・編集：岸和田市教育委員会生涯学習部生涯学習課

所　在　地：〒596-0072
大阪府岸和田市堺町 1 番 1 号
電話 072-423-9616（直通）

発行年月日：平成 29 年 3 月

memo

岸和田市生涯学習推進本部は、生涯学習のまちづくりを市民ぐるみで推進するために設けられ、委員は次の各団体から選出されています。

岸和田市 PTA 協議会、岸和田市こども会育成連絡協議会、岸和田市文化協会、
岸和田市体育協会、岸和田市社会福祉協議会、岸和田市民生委員児童委員協議会、
岸和田障害者･児関係団体連絡協議会、岸和田女性会議、岸和田市医師会、
岸和田商工会議所、岸和田市町会連合会、岸和田市中学校校長会、学識経験者、
岸和田市、岸和田市教育委員会　（順不同）